

東京浅草田町佐藤金五良との者へ
 女房も有る身でわりのあつてついで
 婦が山鳥原に居りしを家へ引とり表向
 養女とあし家内三人くらせしが

カノ美食女へとく金五郎の女房が
 邪魔よあるとみてある夜
 びんも首をとりめて殺し
 有の衣服ごとにてとろと切
 自分で死んど体よあし
 涙を流し世間へいの子に
 成て居りしが天の綱のいうで
 のうまへきや直又あつて此不ど
 戸とらきとやあんと無法あ
 女でへ有りません



大阪錦繪新話

四十九号

金木の巻

阿波文抄